

## 特集「特定看護師」

### 特集にあたって

#### 医療提供者として患者さんから選択される「特定看護師」を目指して

草間 朋子 Tomoko Kusama

東京医療保健大学、日本NP協議会会長 Tokyo Healthcare University, and President, Japanese Nurse Practitioner Association

2013年1月31日投稿

平成20年4月に、公立大学法人大分県立看護科学大学大学院で「特定看護師」に関する教育が始まってから、5年の歳月が経過しようとしている。

現在、保健師助産師看護師法を改正して、「特定行為に係る看護師の研修制度」(平成25年1月)として、制度化する方向で、行政レベルでの検討が行われているが、まだ結論は出ていない。

これからの医療・保健・介護を取り巻く環境の激変にスピーディーに対応していかなければいけない時代を目の前にして、「特定看護師」としての「業務独占」「名称独占」をしないまま、すなわち、新しい資格等を創らずに、看護師の独占業務としての「診療の補助」の行為の枠内で制度化を目指す方向を採ろうとした場合でも、結論が出るまでに、このように長い年月が必要とされる現状に、今後もこのような状況でよいのだろうか大きな疑問と不安を抱いている。

法令主導の医療・保健・介護の社会にあって、世の中の変化に対するタイムリー、スピーディーな制度的な対応を求めていくためには、実際に医療・保健・介護の提供を受ける人々、すなわち、患者さん達の声を、制度化に関係する人々に届け、弾みをつくっていく方法を積極的にとっていく以外にないのではないかと考えているこの頃である。

「特定看護師」は、制度化に先立ち、養成教育が開始された。医療の抱える課題を解決する上で医療従事者としての自分たちの役割を果たし、世の中を少しでも変えていくためには、まず、自分たちのできるところから手がけていこうとする関係者の挑戦と努力から教育は始まった。「Changeのためには、Chanceを大切に、Challengeしよう」との思い入れをもち、学生、教育者、医療者が三位一体となって取り組んできた。その結果、現在、大学院で特定看護師としての教育を修了した50名近い学生達が、特定看護

師の一日も早い制度化を願いつつ臨床現場で活動している。パイオニアとして挑戦し、さまざまな困難に立ち向かいながら活動している特定看護師達は、常に、患者さんに寄り添いながら、患者さんや国民のみなさまの満足に繋がる安全で安心な医療を提供できるようにと自らのスキルアップに、日夜、努力している。この活動の状況を、患者さんをはじめ多くの国民のみなさまに知っていただくことが、制度化へ向けての弾みになるのではないかと期待している。

ますます多様化・複雑化・先進化する日本の医療を支える体制を維持し、国民の満足に繋がる医療を公平、効果的、タイムリーに提供していくためには、「チーム医療」が不可欠であることは議論の余地のないところである。

本来あるべき「チーム医療」は、Client-oriented(患者中心)でなければならない。その中で、どのような医療を選択するかは、インフォームドコンセントに基づき、患者さん達が決定していかなければならない。このためには、高齢の患者さん達でも、自分たちで判断できるように分かり易く、医療の情報を提供していかなければならない。既に活動している特定看護師達が、この役割を果たしつつあることを実感しており、特定看護師の活動が、日本において、本来あるべき「チーム医療」を定着していくために大きな寄与をしていくのではないかと期待している。

患者さん、国民のみなさまの満足のいく医療・保健・介護を実現していくためには、数多くの選択肢が用意されていることが必要だと思う。特定看護師も、チーム医療の中で、患者さんから選択される選択肢の一つである。現在活躍中の特定看護師たちは、多くの医療・保健・介護の場において、患者さんや、患者家族の方々から安心して選択される医療提供者を目指している。

本来あるべき「チーム医療」を定着していくためには、患者さんや、医師、看護師など全ての医療従事者自身の「医療」に対する意識改革が、とくに必要であると考えている。これは、特定看護師の制度化以上に難しい課題であると思う。しかし、特定看護師の制度化を一つの契機として、「医療」に対する医療の受け手側および医療の提供側双方の意識改革が進むことを強く願っている。

誰でも自由にアクセスできる、本インターネットジャーナル「看護科学研究」での今回の特集は、患者さん及び関係者をはじめ国民のみなさまに、特定看護師の活動実績を理解していただく大変よい機会になるのではないかと考えている。そのために、このインターネットジャーナルでの特集号を、医療関係者以外の方々にも、アクセスしていただくための積極的な広報活動をお願いしたい。

#### 注記

本特集では、「特定行為に係る看護師研修制度」として制度化の検討が進められている制度の中で大学院修士課程で教育研修を受けた看護師の名称を「特定看護師」として統一し記述した。

---

#### 著者連絡先

〒152-8558  
東京都目黒区東が丘 2-5-1  
東京医療保健大学東が丘看護学部  
草間朋子  
t-kusama@thcu.ac.jp